



## 2 | 9 レインボー講座でAEDの操作など学ぶ 花月女性の会が救命講習を受講

「いざというとき、パニックになつて実践できないということがないように覚えておきたいです」と話していました。

実習を終えて、岡部会長は「この講座は、同会の行事「健康講座」の一コマとして平成22年から毎年開かれ、今回で3回目。受講者は、女性消防団の中村池絵さんと消防新十津川支署の奥田峻章さんの指導を熱心に聞いて、実習に取り組んでいました。

花月女性の会（岡部恭子会長）の会員12人が、花月区自治会館でレインボー講座の救命講習を受講し、心臓マッサージの方法やAEDの使い方を学びました。

## 2 | 3 今も昔も鬼は一外、福は一内 児童館で豆まき

児童館で豆まきが行われ、新十津川小学校の1、2年生31人が参加しました。初めに、指導員の宮崎さんが「2月3日は、昔の暦で大晦日なんだよ。だから、年の変わり目に家の中や自分の中にある悪魔や悪霊を鬼に見立てて、豆で追い払うんだよ」と、節分の由来を話しました。お話が終わると、金棒を振り回しながら赤鬼と青鬼が登場。子どもたちが逃げ回りながら必死に豆をぶつけると、鬼はたまらずに逃げていきました。





## 2 | 11 軽スポーツで汗流す 全町ハーフテニス大会

ハーフテニス協会（谷口榮会長）が、スポーツセンターで第23回全町ハーフテニス大会を開催し、協会員など町内外から30人（男性20人、女性10人）が出場しました。

ハーフテニスは「高齢者でも気軽に楽しめるスポーツを」と、平成元年に本町で考案されたスポーツ。スポンジボールをラケットで打ち合い、ラリーが続くのが見応えの一つです。

大会は、ラリーポイント制の11点先取1セットマッチのリーグ戦で行われ、抽選で決定したペアが互いに助け合って優勝を目指しました。

（大会結果は9ページ）

## 2 | 5 数枚の端切れで作れます

わふ  
和布で作る小さなひな人形手作り講習会が図書館で開かれ、19人が手のひらサイズのお内裏様とおひな様づくりに挑戦しました。

受講者は、講師の青田ゆり子さんと島倉佳代子さんの熱心な指導に耳を傾けながら、1枚ずつ着物の端切れを組み合わせて、男女1対のひな人形に仕上げました。

完成したひな人形を手のひらに乗せると、受講者は「本当にかわいらしいね」と目を細めていました。



## 2 | 24 伝統百年、銘酒に酔いしれる

金滴友好会（長名實会長）が、改善センターで愛飲の集いを開き、日本酒ファンや酒米生産者ら210人が、地酒金滴を味わいました。

開会に先立ち、長名会長は「おのらの酒がますます栄えることを心から願っています」とあいさつをしました。

参加者は、生酒や純米吟醸酒など、金滴を代表する5つの銘柄の味を飲み比べたり、杯を片手に<sup>さかずき</sup>飲談したりしていました。

